

2011年9月期 第1四半期 決算説明資料

2011年2月

フィンテック グローバル株式会社

(東証マザーズ:8789)

<http://www.fgi.co.jp/>

本説明資料には、業界の動向や分析、今後の見通し、戦略等、現在入手可能な情報から弊社グループの経営陣が判断したものでありますが、様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することも考えられます。

従いまして、将来の戦略及び業績等につきましては本説明資料の内容と異なる可能性がございますことをご了承下さい。

2011年9月期 第1四半期 業績の総括

2011年9月期 第1四半期 業績(連結)

連結(単位:百万円)	2010年9月期 第1四半期	2011年9月期 第1四半期	前年 同期比	2011年9月期 通期業績予想
売上高	1,762	943	△ 818	2,900
売上総利益	236	373	+137	—
営業利益	△ 503	△ 117	+386	150
経常利益	△ 477	△ 147	+330	130
四半期(当期)純利益	△ 156	△ 100	+56	110



総括

[通期業績予想に変更はありません]

- 当四半期より、**投資銀行事業、アセットマネジメント・アドバイザー事業及び公共財関連事業をコア事業**とし、各事業を子会社(FGS、FAM、PMC)が推進していく新体制が始動。当社FGIは事業持株会社としての役割(グループ会社の統括・管理業務受託)及び**プリンシパルファイナンス事業**に特化する。
- 売上高の前年同期比818百万円減少要因**
担保実行により取得した不動産の売却等(前期同期は583百万円)が当四半期になかったこと、及び子会社一部売却(前年同期の売却子会社売上は290百万円)によるもの
これらの影響を除いた場合の売上高は、前年同期比で増加 ⇒ 総じて順調なスタートとなる
本業のファイナンス・アレンジメントやフィナンシャル・アドバイザー(FA)業務などによる手数料収入が大幅に増加 ⇒ 本業への回帰 (次頁に受託業務内訳を記載しております。)
- コア事業の3事業の営業状況は、期初予定通りに推移**
投資銀行事業、アセットマネジメント・アドバイザー事業では、FA業務の増加や事業再生企業のスポンサー支援業務獲得により、業績の進捗はほぼ予定通り。
公共財関連事業は、基準モデル採用自治体におけるPMCのコンサル採用シェアを拡大。
今後、各事業の更なる拡大と2011年1月からのコスト削減効果発現により、通期での黒字化見込み。
- 前期から持ち越しとなっている大型案件は、継続して取組み**

投資銀行事業、アセットマネジメント・アドバイザー事業 受託業務売上内訳

投資銀行事業、アセットマネジメント・アドバイザー事業における受託業務は以下の通りです。
(貸付代理店業務は除く)

顧客への総合的なフィナンシャル・アドバイザー（FA）業務を基に、顧客の財務的課題を掌握し、それぞれに適合したデット・エクイティのファイナンスアレンジ、資産売却アドバイザー等のソリューションを提供します。

今後、FA業務受託顧客の増加とともに、アレンジメント、AM・CM等への業務展開が見込まれます。

(単位:百万円)	FA	アレンジ	エグゼキューション	AM、CM	その他	合計	
前第1四半期	10	5	1	12	0	31	FA (フィナンシャルアドバイザー) AM (アセットマネジメント) CM (キャッシュマネジメント)
当第1四半期	31	60	2	27	8	131	

セグメント別業績

	報告セグメント					合計	調整額	(単位:千円) 四半期連結損益 計算書計上額
	投資銀行事業	アセット マネジメント ・アドバイザー 事業	公共財 関連事業	プリンシパル ファイナンス 事業	その他 投資先事業			
外部顧客への売上高	102,442	51,914	51,506	254,622	483,363	943,849	—	943,849
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	1,000	—	900	1,900	△ 1,900	—
売上高	102,442	51,914	52,506	254,622	484,263	945,749	△ 1,900	943,849
営業費用	81,559	73,600	55,555	274,779	409,457	894,952	166,608	1,061,561
セグメント利益 又は損失(△)	20,882	△ 21,686	△ 3,048	△ 20,156	74,806	50,797	△ 168,508	△ 117,711

1 コア3事業の営業費用には、各子会社から事業持株会社である当社へ支払われる経営指導料（投資銀行事業45,000千円、アセットマネジメント・アドバイザー事業45,000千円、公共財関連事業4,500千円）が含まれております。また調整額166,608千円は、セグメント間取引消去△113,917千円、報告セグメントに配分していない全社費用（主に当社FGIの一般管理費）280,526千円が含まれております。

⇒当社本体のコスト削減効果が2011年1月より出る予定であり、第2四半期以降の収益に貢献する予定です。

2 当社CBを担保とした資金調達などにより、プリンシパル投融資向けの資金調達コスト負担が重くなっております。

⇒銀行調達などの間接金融等への転換するよう努めていきます。

セグメント別営業概況 — 投資銀行事業 —

事業推進子会社—フィンテックグローバル証券株（FGS）

顧客に対し総合的な財務アドバイザー業務を提供していく中で見出される財務的課題への様々なファイナンスに関するソリューション(顧客の債務整理や資産処分、不動産開発資金のアレンジメント、ファンドのリファイナンスアレンジメント、株式等の第三者割当に関するアレンジメント等)を提供してまいります。

第1四半期セグメント財務情報

外部顧客に対する 売上高	102百万円
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—
売上高	102百万円
営業費用	81百万円
セグメント利益	20百万円

顧客企業への継続的なフィナンシャル・アドバイザー(FA)業務を安定した収益基盤、営業基盤として、資金ニーズにあったファイナンスアレンジを行うなど、親密顧客への垂直展開を図りました。また、新規取引先のFA業務等も獲得をするなど、顧客基盤も少しずつ拡大させています。

第2四半期以降は、更なる顧客基盤の拡大、ローン債権証券化ビジネスとエクイティビジネスの推進を企図しております。

FGS第1四半期売上構成(FGS単体)

	金額	第1四半期案件
FA売上	24百万円	総合的なフィナンシャル・アドバイザー業務
アレンジメント売上	58百万円	不動産開発資金アレンジ案件、リファイナンスアレンジ案件、債務整理アレンジ案件
その他売上	18百万円	その他業務、FGIの貸金業代理店業務
売上高合計	102百万円	

セグメント別営業概況 －アセットマネジメント・アドバイザー事業－

事業推進子会社－フィンテックアセットマネジメント(株) (FAM)

企業経営にかかわるビジネス・金融・会計・法律などの専門知識と実務経験を活かした経営支援、フィナンシャルアドバイザー業務により、顧客の経営課題の解決に貢献します。

第1四半期セグメント財務情報

外部顧客に対する 売上高	51百万円
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—
売上高計	51百万円
営業費用	73百万円
セグメント利益	△21百万円

前期からのアセットマネジメント業務やフィナンシャルアドバイザーの継続案件による安定的な収益に加え、顧客の資産売却アドバイザーや民事再生企業のスポンサーとしての支援業務獲得により、収益計上しております。
第2四半期では、前期から取り組んでいるリファイナンスアレンジメントや企業再生案件等のクローズを見込むとともに、既存顧客に対して更なる企業価値向上のための提案や、新規案件獲得のための営業活動を展開しております。

FAM第1四半期売上構成(FAM単体)

	金額	第1四半期案件
AM関連売上	27百万円	AM受託、CM受託及びパフォーマンスフィー等
FA、アレンジ売上	8百万円	スポンサー支援業務、資産売却アドバイザー
エグゼキューション、その他 業務	11百万円	ドキュメンテーション支援、他
貸付代理業務	4百万円	FGIの貸金業代理店業務
売上高合計	51百万円	

セグメント別営業概況 — 公共財関連事業 —

事業推進子会社—(株)パブリック・マネジメント・コンサルティング(PMC)

地方自治体に対し少ない作業負担で公会計（基準モデル）の導入を実現する公会計ソフト“PPP”（トリプルピー）を提供することで、財務諸表作成の支援コンサルティング業務を行っております。財務諸表作成に基準モデルを採用（採用予定含む）する地方自治体において、“PPP”はトップシェアを維持しております。

第1四半期セグメント財務情報

外部顧客に対する売上高	51百万円
セグメント間の内部売上高又は振替高	1百万円
売上高計	52百万円
営業費用	55百万円
セグメント利益	△3百万円

- ・利益ベースで黒字化出来なかったものの、売上高はほぼ計画通りに推移。
- ・受注済コンサルティング案件の仕上げと地方自治体来年度予算獲得の営業に注力。
- ・自治体の資産更新問題を詳細分析できる新商品「財政支援ツール 改革」とで営業推進力を強化。
- ・公共施設マネジメントセミナー開始(公共ファイナンス研究所)

PPP導入及び導入中の自治体数

北海道地区 19(0) 東北地区 8(1)
 関東地区 25(2) 東海・中部地区 30(5)
 近畿地区 6(2) 中国・四国地区 7(2)
 九州地区 12(0)

合計:107

※()は都道府県、政令指定都市、県庁所在地都市、23特別区
 ※公会計コンサルのみも含まれます。

(参考) 総務省資料より抜粋

2009年度決算に係る財務諸表作成見込み

<基準モデル>

都道府県 3 市区町村 164

2010/3/31時点

セグメント別営業概況

－プリンシパルファイナンス事業－

「プリンシパルファイナンス」とは、自己の資金を自らの判断で案件に投融資するビジネスを意味します。当事業は、営業貸付金からの金利収入やローン手数料、匿名組合からの利益配当による売上の他、企業投融資収益や担保実行により取得した物件売却による売上を計上します。投資銀行事業及びアセットマネジメント・アドバイザー事業と組み合わせて展開することにより、相乗効果が期待されます。

第1四半期セグメント財務情報

外部顧客に対する売上高	254百万円
セグメント間の内部売上高又は振替高	—
売上高計	254百万円
営業費用	274百万円
セグメント利益	△20百万円

セグメント別営業概況 – その他投資先事業 –

当事業では、コア事業以外の純投資を目的した事業会社による収益を計上します。
当事業に属する子会社は以下の通りであります。

- ・株式会社ベルス（福利厚生トータルサービス）
- ・Crane Reinsurance Limited（再保険事業）
- ・FINTECH GIMV FUND,L.P.
（ベンチャーキャピタルファンド）

第1四半期セグメント財務情報

外部顧客に対する 売上高	483百万円
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0.9百万円
売上高計	484百万円
営業費用	409百万円
セグメント利益	74百万円

主な投資先事業の状況

Crane Reinsurance Limited

	第1四半期 単体業績
売上高	367百万円
経常利益	107百万円

Craneは引き続き、Hardy Underwriting Bermudaのシンジケート382から傷害保険等のリスクを引き受けております。なお、当四半期の売上高及び利益の大幅な増加は、前事業年度における売上計上の資料の変更（外部機関の報告書から再保険会社の発行する勘定書への変更）に伴う調整によるものであり、通期業績予想に対しては予定通りの進捗状況となっております。

株式会社ベルス

	第1四半期 単体業績
売上高	116百万円
経常利益	△6百万円

依然厳しい不動産市況ではありますが、当四半期においては計画通りに推移しており、流通大手企業への住宅サービス提供開始、再生住宅の紹介ビジネス開始等の明るい兆しも出てきております。これらのビジネスを推進することにより、より一層の業績拡大を目指して参ります。

2011年9月期 第1四半期 子会社業績の概要

単位：百万円

フィンテック グローバル証券	2009年9月期			2010年9月期			2011年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	56	35	91	8	1	10	102
経常利益	△20	△14	△35	△33	△42	△76	20

フィンテック アセット マネジメント	2009年9月期			2010年9月期			2011年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	—	8	8	33	49	83	51
経常利益	—	△81	△81	△0	24	24	△21

パブリック・ マネジメント・ コンサルティング	2009年9月期			2010年9月期			2011年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	152	97	249	121	50	172	52
経常利益	△15	△52	△67	△41	△165	△206	△2

Crane Reinsurance	2009年9月期			2010年9月期			2011年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	29	299	329	444	47	492	367
経常利益	△254	15	△238	△39	△33	△72	107

ベルス	2009年9月期			2010年9月期			2011年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	283	309	592	254	292	546	116
経常利益	12	43	55	0	30	31	△6

財務ハイライト

1. 連結 貸借対照表

資産の部

(単位: 千円、%)

	10年9月期		11年9月期 第1四半期	
流動資産	5,261,820	71.6	5,565,998	72.8
現金及び預金	829,661		1,146,274	
売掛金	67,083		107,522	
営業投資有価証券	5,960,043		5,939,766	
販売用不動産	1,630,622	3	1,420,741	
繰延税金資産	1,083		4,505	
営業貸付金	5,317,419		5,113,839	
その他	329,447		688,545	
貸倒引当金	△ 8,873,539		△ 8,855,196	
固定資産	2,090,609	28.4	2,084,443	27.2
有形固定資産	150,054	2.0	149,849	2.0
無形固定資産	442,561	6.0	419,528	5.5
投資その他の資産	1,497,993	20.4	1,515,065	19.8
資産合計	7,352,430	100.0	7,650,442	100.0

負債の部

(単位: 千円、%)

	10年9月期		11年9月期 第1四半期	
流動負債	1,247,720	17.0	1,490,943	19.5
短期借入金	66,000	1	503,957	
一年内返済予定 長期借入金	125,000		80,000	
未払金	92,750		143,922	
未払費用	152,530		167,034	
預り金	497,764	4	502,799	
その他	466,205		93,229	
固定負債	2,940,154	40.0	3,151,371	41.2
新株予約権付社債	1,200,000		1,200,000	
長期借入金	1,026,449		1,006,115	
繰延税金負債	56,802		65,485	
退職給付引当金	71,834		82,418	
保険契約準備金	442,437	5	589,862	
その他	142,629		207,489	
負債合計	4,187,874	57.0	4,642,314	60.7

純資産の部

(単位: 千円、%)

	10年9月期		11年9月期 第1四半期	
株主資本	2,577,473	35.1	2,476,937	32.4
資本金	10,764,317	146.4	10,764,317	140.7
資本剰余金	10,351,900	140.8	10,351,900	135.3
利益剰余金	△ 18,538,744	△ 252.1	△ 18,639,280	△ 243.6
評価・換算差額等	△ 130,878	△ 1.8	△ 146,719	△ 1.9
新株予約権	21,811	0.3	18,189	0.2
少数株主持分	696,149	9.5	659,720	8.6
純資産合計	3,164,555	43.0	3,008,127	39.3
負債純資産合計	7,352,430	100.0	7,650,442	100.0

1 顧客の財務リストラ支援のために子会社SPCが一時的に取得した顧客資産を担保にしたノンリコースローン借入により増加しております。

2 投資その他の資産に、2010年9月期に子会社が取得した当社新株予約権付社債(額面金額12億円)が投資有価証券として計上されております。

3 上記の当社新株予約権付社債を担保として、長期借入金約9億円を借入れてプリンシパルファイナンスを実行し、投資資産を取得しております。

4 営業投資有価証券の売却に伴う預り金450百万円

5 Crane Reinsurance の再保険事業に係る支払備金

2. 連結 損益計算書

(単位: 千円、%)

	2010年9月期 第1四半期		2011年9月期 第1四半期		2010年9月期	
売上高	1,762,068	100.0	943,849	100.0	3,465,497	100.0
売上原価	1,525,636	86.6	570,413	60.4	2,530,057	73.0
売上総利益	236,432	13.4	373,435	39.6	935,439	27.0
販売費及び一般管理費	740,385	42.0	491,147	52.0	3,442,291	99.3
営業利益	△ 503,952	△ 28.6	△ 117,711	△ 12.5	△ 2,506,852	△ 72.3
営業外収益	42,323	2.4	2,189	0.2	65,807	1.9
営業外費用	16,338	0.9	31,536	3.3	163,174	4.7
経常利益	△ 477,967	△ 27.1	△ 147,058	△ 15.6	△ 2,604,219	△ 75.1
特別利益	516,298	29.3	53,829	5.7	619,920	17.9
特別損失	297,579	16.9	18,478	2.0	349,287	10.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	△ 259,248	△ 14.7	△ 111,707	△ 11.8	△ 2,333,586	△ 67.3
法人税等合計	462	0.0	6,246	0.7	88,505	2.6
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	△ 259,711	△ 14.7	△ 117,953	△ 12.5	△ 2,422,092	△ 69.9
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 102,769	△ 5.8	△ 17,417	△ 1.8	△ 249,258	△ 7.2
四半期(当期)純利益	△ 156,941	△ 8.9	△ 100,536	△ 10.7	△ 2,172,834	△ 62.7

1 投資銀行事業、アセットマネジメント・アドバイザー事業のFA、アレンジ、AMの拡大により、粗利率が向上
2010年9月期通期27.0% ⇒ 当四半期39.6%

2 販売費及び一般管理費は、連結子会社の減少、業務効率化と人件費等の経費削減により、前年同期比で249百万円減少

参考資料

- 個別財務諸表（貸借対照表、損益計算書）
- 財務指標の推移
- 2011年9月期第1四半期 報告セグメント

1. 個別 貸借対照表

資産の部

(単位: 千円、%)

	10年9月期		11年9月期 第1四半期	
流動資産	4,759,820	57.8	3,262,230	47.9
現金及び預金	344,469		114,689	
売掛金	631		692	
営業投資有価証券	5,864,973		5,004,809	
販売用不動産	1,630,622		1,410,008	
営業貸付金	5,654,379		5,450,799	
短期貸付金	57,628		56,785	
その他	87,899		102,234	
貸倒引当金	△ 8,880,782		△ 8,877,787	
固定資産	3,474,443	42.2	3,549,517	52.1
有形固定資産	140,590	1.7	140,178	2.1
無形固定資産	13,221	0.2	11,706	0.2
投資その他の資産	3,320,631	40.3	3,397,632	49.9
資産合計	8,234,264	100.0	6,811,748	100.0

負債の部

(単位: 千円、%)

	10年9月期		11年9月期 第1四半期	
流動負債	4,666,151	56.7	3,410,804	50.1
短期借入金	1,149,175	1	1,220,175	
一年以内返済予定 長期借入金	45,000		—	
未払金	1,092,051		1,124,668	
預り金	1,176,626		933,328	
前受金	1,056,461		13,710	
その他	146,836		118,921	
固定負債	1,236,281	15.0	1,238,827	18.2
新株予約権付社債	1,200,000		1,200,000	
その他	36,281		38,827	
負債合計	5,902,433	71.7	4,649,632	68.3

純資産の部

(単位: 千円、%)

	10年9月期		11年9月期 第1四半期	
株主資本	2,310,019	28.1	2,143,927	31.5
資本金	10,764,317	130.7	10,764,317	158.0
資本剰余金	10,351,900	125.7	10,351,900	152.0
利益剰余金	△ 18,806,198	△ 228.4	△ 18,972,290	△ 278.5
新株予約権	21,811	0.0	18,189	0.0
純資産合計	2,331,831	28.3	2,162,116	31.7
負債純資産合計	8,234,264	100.0	6,811,748	100.0

1 グループ会社等からの借入によるもの

2 当四半期末後の2011年1月25日に2010年12月の定時株主総会決議による減資の効力発生により、資本金は約23億円、資本準備金は0円となっております。

2. 個別 損益計算書

(単位: 千円、%)

	2010年9月期 第1四半期		2011年9月期 第1四半期		2010年9月期	
売上高	454,217	100.1	401,185	100.0	1,033,845	100.0
売上原価	306,892	67.6	257,425	64.2	598,807	57.9
売上総利益	147,325	32.4	143,759	35.8	435,037	42.1
販売費及び一般管理費	393,868	86.7	343,460	85.6	2,063,563	199.6
営業利益	△ 246,542	△ 54.3	△ 199,700	△ 49.8	△ 1,628,525	△ 157.5
営業外収益	17,446	3.8	3,195	0.8	56,675	5.5
営業外費用	3,304	0.7	15,403	3.8	34,019	3.3
経常利益	△ 232,401	△ 51.2	△ 211,908	△ 52.8	△ 1,605,869	△ 155.3
特別利益	490,992	108.1	53,644	13.4	609,577	59.0
特別損失	251,218	55.3	7,525	1.9	1,598,084	154.6
税引前四半期(当期)純利益	7,372	1.6	△ 165,789	△ 41.3	△ 2,594,376	△ 250.9
法人税等合計	954	0.2	302	0.1	3,800	0.4
四半期(当期)純利益	6,418	1.4	△ 166,092	△ 41.4	△ 2,598,176	△ 251.3

1 売上高：営業主体の多くを子会社に移行したため当社の売上は、主に既契約案件売上、プリンシパルファイナンス売上及び子会社からの経営指導料売上となる。

財務指標の推移

連結 (単位：百万円)		2010年					2011年
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
PL	売上高	1,762	830	288	585	3,465	943
	売上総利益	236	399	213	* 85	935	373
	営業利益	△ 503	△ 271	△1,080	* △ 650	△ 2,506	△117
	当期純利益	△156	△ 248	△1,285	* △ 482	△ 2,172	△ 100
BS	純資産	5,207	5,146	3,805	3,164	3,164	3,008
	総資産	13,514	10,613	9,784	7,352	7,352	7,650
財務 比率	自己資本比率	33.3%	40.3%	30.3%	33.3%	33.3%	30.5%
	デットエクイティレシオ (倍) ※	1.38	0.83	1.48	0.99	0.99	1.19

※有利子負債／自己資本

*通期業績－3Q累計業績

2011年9月期 第1四半期 報告セグメント

2011年9月期第1四半期の報告セグメントは以下の通りであります。

(当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しております。)

■ 2011年9月期第1四半期の報告セグメント

報告セグメント	事業内容	主な事業推進会社 (連結子会社のみ)
投資銀行事業	ファイナンスアレンジメント・ アドバイザー エクゼキューション業務受託 証券業務	フィンテックグローバル証券
アセットマネジメント・ アドバイザー事業	アセットマネジメント業務 フィナンシャル・アドバイザー業務 経営コンサルティング業務 再生支援業務	フィンテックアセットマネジメント
公共財関連事業	公会計導入コンサルティング	パブリック・マネジメント・ コンサルティング
プリンシパル ファイナンス事業	自己資金投融資	フィンテックグローバル
その他投資先事業	投資先事業	ベルス(福利厚生トータルサービス) Crane Reinsurance(再保険事業) FINTECH GIMV FUND (ベンチャーファンド)

(参考) 2010年9月期の事業の種類別セグメント

事業の種類別 セグメント	サブセグメント	主な事業推進会社 (連結子会社のみ)
投資銀行事業	アレンジャー業務 プリンシパル ファイナンス業務 その他投資銀行業 務	フィンテックグローバル フィンテックグローバル証券 FINTECH GIMV FUND
再保険 保証事業	—	Crane Reinsurance Stellar Capital (2010年8月解散決議) イントラスト (2010年2月まで連結) フィンテックグローバル
不動産 関連事業	—	フィンテックグローバル フィンテックアセットマネジメン ト ベルス 新栄不動産開発 (2010年9月まで連結)
その他事業	—	パブリック・マネジメント・ コンサルティング

調整額	持株会社運営費用(全社費用) グループ会社間取引相殺
-----	-------------------------------

